

米原駅の不幸な事態を繰り返さないために 本部・地本が申し入れを行う！

1月に発生した米原駅における社員の自殺について、本部・地本は不幸な事態を二度と発生させないために申し入れを行いました。

自殺した米原駅社員は、私たちJ R東海労の組合員ではなくユニオン組合員です。しかし、社員が自ら命を絶つといった異常な事態が発生し、原因が会社の異常な労務管理にあるとなれば、所属云々関係なく労働組合としての存在が問われます。

会社は私たちの申し入れを拒否！

自殺した原因をわかっているのは会社です。そして、自殺した原因を変えなければならないのも会社です。したがって、私たちは申し入れを行いました。が、会社は「一社員の死亡について説明することはない」と私たちの申し入れを拒否しました。

また、原因の一因である1時間前出勤の強要をやめるように申し入れを行いました。しかし、会社は「強要していない。取り扱いとしても問題ない」と、社員が自ら命を絶ったことに対して、何ら自らの異常な労務管理を顧みない不誠実な対応をしています。

ユニオンは沈黙したままで何もしないのか！

米原駅社員が所属していたユニオンは、今回の事態に対して沈黙をしています。組合員が自ら命を絶つ事態に対して、ユニオンはどのような認識を持っているのか明らかにしていません。自殺した組合員の無念な気持ちを受け止めれば、組合の機関開催時にせめてでも黙とうを捧げるべきだと思います。しかし、つい最近に開催されたユニオンの中央・地本委員会で黙とうを捧げたという声は聞きません。

不幸な事態を繰り返さないために共に闘おう！

ユニオン・国労組合員の皆さん！私たちは米原駅の自殺の原因は会社の異常な労務管理であると認識しています。二度とこのような不幸な事態を発生させないために、会社としっかりと闘わなければなりません。会社の異常な労務管理をなくすために共に闘おうではありませんか！

申し入れ内容やJ R東海労の取り組みは、本部・地本のホームページをご覧ください。
【J R東海労】【J R東海労新幹線関西地本】で【⇒検索】してください。